

3. 本時案② 【習得場面】（3時間目／8時間）

- (1) 本時のねらい
 ・ルールを工夫することができるようにする。
- (2) 本時の評価規準
 ・ルールを工夫している。(思考・判断・表現)
- (3) 学習過程

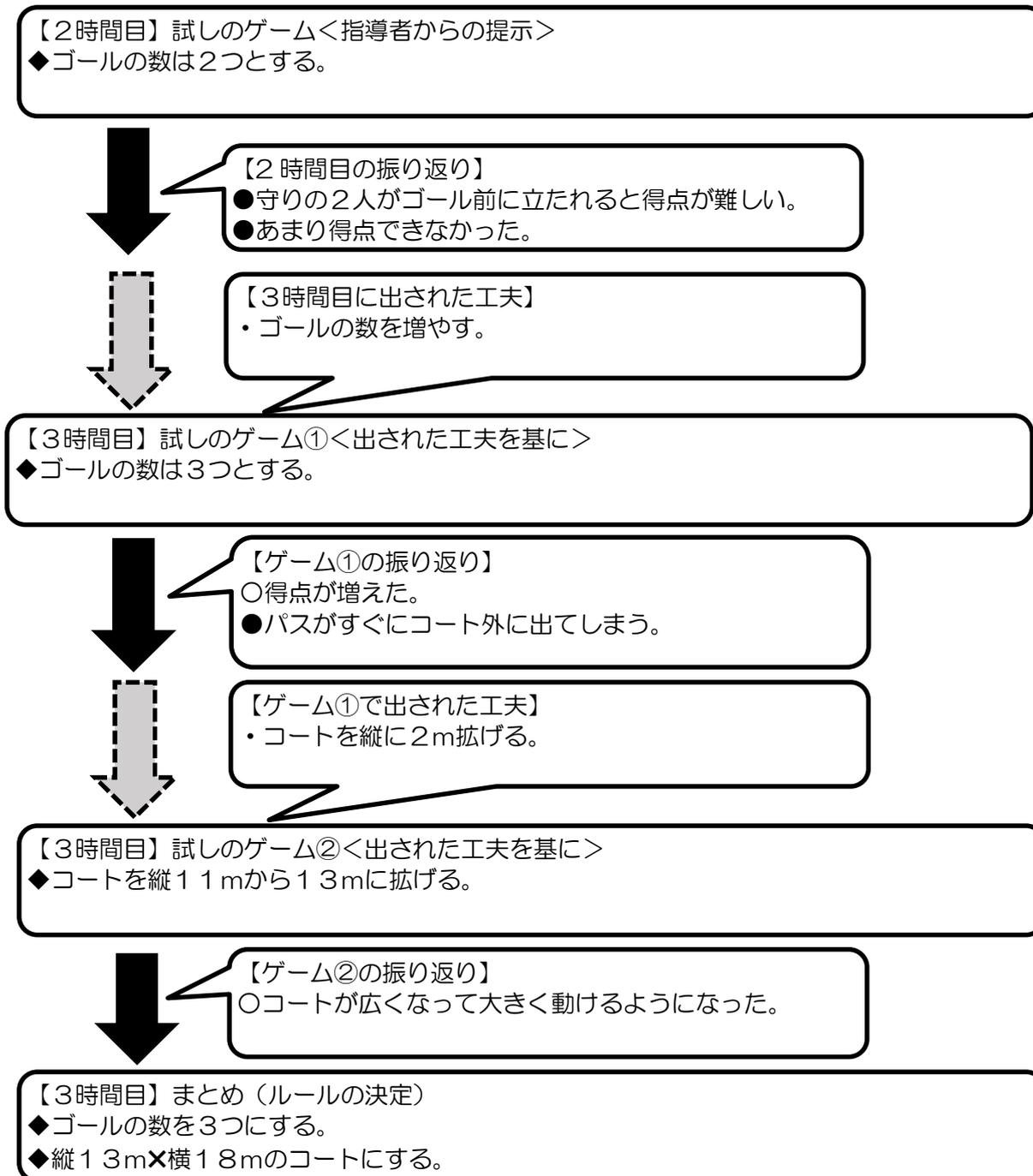
	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び評価方法
はじめ 1 2 分	<p>1 用具の準備、集合、挨拶、健康観察、準備運動</p> <p>2 主運動につながる補助運動 ○運動のポイントを意識してナンバリングパス、2メンパス、2対1鬼ごっこをする。 ・ポイントである「パスをしたらすぐに移動する」「鬼がいない場所を見つけて移動したり、パスをしたりする」ことを確認し、評価したり、必要に応じて指導したりすることを繰り返し、必要な技能の習熟を図る。</p> <p>3 本時のめあてと評価規準の確認</p>	
	めあて みんなが楽しめるようにフットホッケーのルールを工夫しよう	
	評価：ルールを工夫している(思考・判断・表現)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが楽しくできるために」どのようなルールの工夫ができるか、前時までに与えられた困り等を基に考えさせる。 ・考えが出にくい場合は、指導者からルールの例を提示し、考える手がかりにさせる。 	
なか 2 6 分	<p>4 試しのゲーム① ○「みんなが楽しめるルール」になっているかを意識しながら、実際にゲームをしたり、観察をしたりする。 ・出された工夫が「みんなが楽しめるルール」になっているか、きょうだいチームで互いに見合わせる。 ・試しのゲーム①が終わったら、きょうだいチームで見合ったことを共有させる。その後、全体で集まり、さらに工夫したほうがよいこと等を出し合う。 ・出された意見を基に試しのゲーム②のルールを確認する。</p> <p>5 試しのゲーム② ○試しのゲーム①より「みんなが楽しめるルール」になっているかを意識しながら、実際にゲームをしたり、観察をしたりする。 ・試しのゲーム②がルールを工夫できる最後の機会であることをゲーム前に知らせる。 ・試しのゲーム②が終わったら、きょうだいチームで見合ったことを共有させる。その後、全体で集まり、さらに工夫したほうがよいこと等を出し合う。 ・出された意見を基にゲーム②のルールを確定させる。</p>	<p>【おおむね満足】 (ワークシート) ルールを工夫している</p> <p>【十分満足】 より「みんなが楽しめる」ことにつなげてルールを工夫している。</p> <p>【努力を要する児童への手立て】 ・ゲームで困りや願いを確認し、工夫する手がかりにさせる。 ・ルールの工夫例を提示し、選ばせる。</p>
まとめ 7 分	<p>6 本時の振り返り ・自分、ペア、チームの順で振り返ったり、共有したりさせる。その後全体で共有させる。 ・より「みんなが楽しめる」ことにつなげてルールを工夫している児童やチームを紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</p> <p>7 整理運動、用具の片付け、健康観察、集合、挨拶</p>	

<補足事項>

【変えないルールの例】※第5学年のゴール型で付けたい力に関連して

- ◆ドリブル禁止(ボールを持たないときの動きを身につけさせるため)
- ◆攻め3人、守り2人の人数(攻めの数的優位を保つため)
- ◆踏んでいるパックを守備は奪えない(安全面から)

○ルール of 工夫の流れ (例)



○ワークシートの項目の一部 (例) 個人の学習状況を把握するための参考資料にもなる

フットホッケーのルールをみんなが楽しめるように工夫することができましたか。

() ルールを工夫することができた。

自分で工夫したルールを書きましょう。

【

】

このルールにしようと思ったわけを詳しく書きましょう。

【

】

() 先生や友達が考えたルールを選ぶことができた。

選んだルールを書きましょう。

【

】さんの【

】

() ルールを工夫することも選ぶこともできなかった。